

## 第26回 食事サービスを考えるつどい

在宅生活を支援する食事サービスは、住民の自主的な活動として取り組まれてから30余年が経過しました。この間に公的福祉は、介護保険制度に見られるように大きく改善されました。しかしそこでは、サービス供給体制の整備に目が向けられる一方で、住民自身が福祉に関わる意義について十分な理解が深まっていません。

パネルディスカッションにて高齢者の食を巡る現状と課題について学び、また分科会を通じて日頃の活動や組織運営をめぐる情報を共有し、住民参加による地域福祉の推進に向けてさらなる議論を深めたいと考えています。

食事サービス活動に関心のある方なら、どなたでもご参加いただけます。どうぞご参加下さい。

**日時**：平成22年**10月11日（月）** 10：10～15：30（予）

**会場**：飯田橋セントラルプラザ 12階（飯田橋駅：JR西口、地下鉄B2出口）

**参加費**：2,000円

参加対象：食事サービス活動に関わるNPO、ボランティア、社会福祉協議会、自治体職員、および食事サービス活動に関心のある方

主催：東京食事サービス連絡会

共催：東京ボランティア・市民活動センター、全国老人給食協力会

後援：三鷹市

<プログラム（案）> ※プログラムは現在検討中であり、内容など変更することがあります。

10：00 受付開始（受付9時45分～）

10：10 開会挨拶

10：20～12：00 **第I部パネルディスカッション**

**「地域福祉と住民参加型在宅福祉サービス／食事サービス活動の現状とあり方について」**

事例：高階豊彦氏（三鷹市健康福祉部高齢者支援課課長）

村山美智恵氏（特定非営利活動法人こぶしの会代表）

講師：清水洋行氏（東京学芸大学社会学分野准教授）

アドバイザー：小島セツ子氏（東京都社会福祉協議会特別研究員）

進行：竹内則夫氏（東京ボランティア・市民活動センター副所長）

地域包括ケアとして住宅と在宅医療、介護と日常生活支援など地域で暮らし続けるためのしくみづくりに対する社会的な議論も始まり、コミュニティが担う循環型の食事サービスなど在宅福祉サービス活動に対する社会的な支援にも期待がもたれます。歴史を振り返りながら現状と課題を共有し、今後のよりよきコミュニティが担う食事サービスなど在宅福祉活動のあり方について検討します。

▼ 裏面に続く

13:00 **第Ⅱ部講義 「時代を読む」—地域包括ケアとコミュニティサービス— (仮題)**

講師：山崎美貴子氏 (神奈川県保健福祉大学学長)

13:40 **第Ⅳ部 分科会**

**第1分科会 「私たちが創る／地域力」**

事例を元に、担い手や団体の運営などについての情報や課題を共有するためにいくつかのグループに分かれ、今後の運営や担い手確保の手法について情報を交換し、地域を紡ぐネットワークをひろげましょう。

キーワード：住民参加と在宅福祉、担い手確保等運営の工夫、在宅支援と食事サービス

進行：竹内則夫氏 (東京ボランティア・市民活動センター副所長)

事例報告：上田則子氏 (長寿社会を考える会まごころケア八王子・八王子市)

コーディネーター：

渡辺大亮氏 (すずらん・国立市)

三宅陽子氏 (暮らしのお手伝いこぶしの会・練馬区)

高橋玲子氏 (小平いたわりの会・小平市)

佐野文氏 (食事サービス加多厨・八王子市)

青木節子氏 (長寿社会を考える会さくらん

高田恵美子氏 (三鷹市給食活動連絡会・三鷹市)

ぼ食事サービス・八王子市)

関隆次朗氏 (サポートハウス年輪・西東京市)

石田惇子氏 (支え合う会みのり・稲城市)

アドバイザー：小島セツ子氏 (東京都社会福祉協議会特別研究員)

**第2分科会 「コミュニティを築き、元気になれる食事サービスの進め方」**

沢山の市販のお弁当があふれる中で、住民が、地域の人々のために食事を作り、届ける意味はどこにあるのでしょうか。また、サービスを続けていくには、どのような点がポイントになるのでしょうか。三鷹市「赤とんぼ」の事例をもとにご一緒に考えていきましょう。また、食事サービスの意味、役割についても科学的データをもとにお示ししていきます。

キーワード：拠点、保健衛生、役割分担、利用者とのかかわり方、関係機関との連携

講師：野村知子氏 (桜美林大学健康福祉学科健康福祉学群教授)

事例：沖谷啓子氏 (赤とんぼ給食ボランティア・三鷹市)

15:10 まとめ・閉会 (15:30※予)

★お申込・お問い合わせ先：東京ボランティア・市民活動センター TEL：03-3235-1171 FAX：03-3235-0050

★ ホームページからもお申込になれます。 [Http://www.tvac.or.jp](http://www.tvac.or.jp)

**参加申込書**

第26回食事サービスを考えるつどい **FAX：03-3235-0050**

氏名 (フリガナ)			
団体名			
住所 (選択→団体・自宅)	〒		
電話			
FAX		メールアドレス	
分科会 (選択して下さい)	第1分科会		第2分科会

※今後催事のご案内などを送付させていただく場合がございます。予めご了承下さい。